

試験開始の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。

ゴールド会員  
センター試験 ( 1997年～2006年の  
川崎フロンターレに関する問題 ) (100点)

注意事項

- 1 解答用紙に、正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあります。
- 2 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を高く挙げて監督者に知らせなさい。
- 3 解答は、解答用紙の解答欄にマークしなさい。例えば、問10と表示のある問いに対して③と解答する場合は、次の(例)のように問10の解答欄の③にマークしなさい。

(例)

問	解答欄
10	① ② ● ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

- 4 問題冊子の余白等は適宜利用してもよいが、どのページも切り離してはいけません。
- 5 不正行為について
  - ① 不正行為に対しては厳正に対処します。
  - ② 不正行為に見えるような行為が見受けられた場合には、監督者がカードを用いて注意します。
  - ③ 不正行為を行った場合は、その時点で受験を取りやめさせ退室させます。
- 6 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

# 解答

受験者数 : 92名

最高点 : 86点

平均点 : 50.5点

<p><b>問1</b> 1997年のJFL公式プログラムでフロンターレの「俊足ナンバーワン」として紹介された選手を、次の①～④から選べ。</p> <p>①菅野賢一 ②向島建 ③ムタイル ④高田栄二</p> <p><b>問2</b> 1997年にテレビ神奈川で放送された「めざせJリーグ!川崎フロンターレ」の放送時間を、次の①～④から一つ選べ。</p> <p>①毎月第3月曜日 18:15～18:30  ②毎月第3月曜日 22:00～22:15  ③毎月第3金曜日 18:15～18:30  ④毎月第3金曜日 22:00～22:15</p> <p><b>問3</b> 1997年にホームゲームを開催した会場として、<u>正しくないもの</u>を次の①～④から一つ選べ。</p> <p>①夢の島 ②町田 ③西が丘 ④長野</p> <p><b>問4</b> 1997年の「川崎フロンターレサポーターズクラブ」会員先着5,000名の発足記念特典を、次の①～④から一つ選べ。</p> <p>①自由席シーズンチケット ②タオルマフラー ③フラッグ ④ステッカー</p> <p><b>問5</b> 1997年にプロ化するにあたって公募したチーム名の応募総数を、次の①～④から一つ選べ。</p> <p>①879通 ②1,879通 ③10,879通 ④100,879通</p> <p><b>問6</b> 1997年のホームゲームを全試合観戦するとプレゼントされたグッズを、次の①～④から一つ選べ。</p> <p>①ベンチコート ②リュックサック ③スパイク ④公式試合球</p> <p><b>問7</b> 1997年当時の練習グラウンドの最寄駅を、次の①～④から一つ選べ。</p> <p>①矢野口 ②稲城長沼 ③南多摩 ④府中本町</p>	<p><b>解答1</b> ①菅野賢一  1997年には「100メートルを11秒前半で走る」と紹介されていたが、翌年には「100メートル11秒ジャスト」と変更されていた。</p> <p><b>解答2</b> ①毎月第3月曜日 18:15～18:30  当時ナレーターを務めていたのは、現在アニメなどで人気声優として活躍中の諏訪部順一氏。</p> <p><b>解答3</b> ④長野  長野でホームゲームを行ったのは1998年のジャトコ戦。1998年には長野のほかに、横浜国（現・日産ス）、平塚でもホームゲームを開催した。</p> <p><b>解答4</b> ①自由席シーズンチケット  年会費6,000円で、特典は回数券5枚、ホームゲームチケット半額、入会時にオリジナルグッズプレゼント、ホームゲーム来場時にオリジナルグッズプレゼントだったが、先着5,000名には回数券5枚の代わりに、自由席シーズンチケットがプレゼントされた。</p> <p><b>解答5</b> ③10,879通  フロンターレ以外の最終候補は「ドリームズ」と「ガッツ」。応募者の中から、最優秀賞1名にはノートパソコン「FMV-BIBLO」が、優秀賞2名にはワープロ「OASYS」が贈られた。</p> <p><b>解答6</b> ①ベンチコート  選手・スタッフが着用するものと同じタイプのベンチコートがプレゼントされたが、当初の予想を超える応募者がいたためか、一部の応募者には異なる仕様のベンチコートに渡された。</p> <p><b>解答7</b> ③南多摩  1997年当時の練習グラウンドは「富士通多摩総合グラウンド」。</p>
---	--

<p><b>問 8</b> 1997年のクラブ創設ときに業務提携したクラブを、次の①～④から一つ選べ。</p> <p>① グレミオ ② サンパウロ ③ サントス ④ フラメンゴ</p> <p><b>問 9</b> 問 8のクラブに、提携最後の年となる 2000年に留学した選手を、次の①～④から一つ選べ。</p> <p>① 佐原秀樹 ② 大石鉄也 ③ 伊東真吾 ④ 渡辺匠</p> <p><b>問 10</b> 1997～1998年に在籍したムTAILの応援歌の原曲を、次の①～④から一つ選べ。</p> <p>① ブラジル国歌 ② アルゼンチン国歌 ③ アルジェリア国家 ④ ナイジェリア国歌</p> <p><b>問 11</b> 1997～1999年に在籍した江田広の出身地を、次の①～④から一つ選べ。</p> <p>① ブラジル ② アルゼンチン ③ ペルー ④ エクアドル</p> <p><b>問 12</b> クラブ発足当時の運営会社の名称を、次の①～④から一つ選べ。</p> <p>① (株) 富士通川崎フロンターレ  ② 富士通川崎スポーツ・マネジメント (株)  ③ (株) 富士通川崎サッカー部  ④ 富士通フロンターレ川崎 (株)</p>		<p><b>解答 8</b> ① グレミオ  1997年当時のエンブレム、ユニフォームのデザインはグレミオがモデル。ゼッカ GK コーチ、マルシオ、シャイデらのブラジル人選手もグレミオから招聘された。</p> <p><b>解答 9</b> ④ 渡辺匠  佐原は 1997年 (ほかに江田), 大石, 伊東は 1998年にグレミオ留学を経験</p> <p><b>解答 10</b> ④ ナイジェリア国歌  1995年のキング・ファハド・カップ (コンフェデレーションズカップの前身) では、ナイジェリア代表として日本戦に出場した</p> <p><b>解答 11</b> ③ ペルー  ペルー生まれの日系人。帝京高校にサッカー留学で来日し、3年時には高校選手権で優秀選手に選ばれた。卒業後の 1996年に富士通に加入。1997年のプロ化後もチームに残り、1999年まで在籍した。</p> <p><b>解答 12</b> ② 富士通川崎スポーツ・マネジメント (株)  富士通の 100%子会社として発足したが、2002年には社名を (株) 川崎フロンターレに変更。現在は、川崎市や地元企業などに加え、川崎フロンターレ持株会も出資している。</p> <p><b>解答 13</b> ① 武蔵小杉タワープレイス  武蔵小杉タワープレイスの 14階に事務所を構え、グッズ販売も行っていた。</p> <p><b>解答 14</b> ④ 富士通エフサス  胸に「FUJITSU」、背中に「NIFTY」、左袖に「富士通ゼネラル」で、パンツスポンサーはなし。翌 1998年は、背中が「Fsas」に変更。</p> <p><b>解答 15</b> ③ ホテル・ザ・エルシィ  武蔵小杉タワープレイスの向かいにあったホテル・ザ・エルシィは 2007年に営業を終了し、現在は駐車場となっている。</p>
--	--	--

**問 16** 1998 年のファンクラブのオプションサービスとして提供された、川崎フロンターレ FAX サービスの名称を、次の①～④から一つ選べ。

① フォルツァ!!Frontale ② ふおるつぁ!!Frontale ③ アバンテ!!Frontale ④ あばんで!!Frontale

**問 17** 1998 年のファンクラブの会員種別として、正しくないものを次の①～④から一つ選べ。

① キャプテンメンバー ② フレンドリーメンバー ③ ファミリーメンバー ④ ジュニアメンバー

**問 18** J リーグ準会員として参加した 1998 年のヤマザキナビスコカップ。この大会の出来事として、正しくないものを次の①～④から一つ選べ。

① ウーゴ・マラドーナを擁する札幌と対戦  
② 合併前の横浜フリューゲルスと対戦  
③ 万博で G 大阪に勝利  
④ 予選リーグ 2 位で決勝トーナメント進出

**問 19** 1998 年に行われた J1 参入決定戦。対戦相手とスコアの正しい組み合わせを、次の①～④から一つ選べ。

① 市原／2-3 ② 市原／1-2 ③ 福岡／2-3 ④ 福岡／1-2

**問 20** 1998 年の JFL に参戦していた大学を、次の①～④から一つ選べ。

① 国士舘大学 ② 流通経済大学 ③ 順天堂大学 ④ 阪南大学

**問 21** 【1998 年のファンクラブニュースより】「試合の後や遠征のときなど、いつも「この選手が準備できていれば、大丈夫」とマネージャー・山岸さんが確認するというほどフロンターレいち準備の遅い選手とは、次のうち誰でしょうか?」。次の①～③から一つ選べ。

① 伊藤優津樹 ② 源平貴久 ③ 鬼木達

**解答 16** ② ふおるつぁ!!Frontale

1998 年は、会報誌と FAX サービスがオプションの有料サービスだった。インターネットがまだ本格的に普及していなかったため、FAX サービスは貴重な速報ツールだった。

**解答 17** ③ ファミリーメンバー

1998 年の会員種別は、年会費 2,000 円のフレンドリーメンバー、フレンドリーメンバーの特典に加えてホームゲーム共通券 5 枚プレゼント+前売・当日券が半額になる年会費 5,000 円のキャプテンメンバー、子どもを対象とした年会費 1,000 円のジュニアメンバーの 3 種類。

**解答 18** ④ 予選リーグ 2 位で決勝トーナメント進出

予選リーグは 2 勝 2 敗で 2 位だったが、決勝トーナメント（準決勝）に進出できるのは 1 位のみだった。なお、「J1 昇格後」の万博初勝利は 2009 年の ACL ラウンド 16 だったが、実は JFL 時代に勝利をあげていた。（1999 年のナビスコカップ 1 回戦第 2 戦でも 1-0 で勝利したが、2 戦合計 2-3 で 2 回戦進出はならなかった）

**解答 19** ③ 福岡／2-3

アウェイ博多の森球技場での一発勝負となった J1 参入決定戦 1 回戦。2 度のリードを奪ったものの、後半アディショナルタイムに追いつかれると、延長前半終了間際、フェルナンドに V ゴールを奪われ、1999 年の J2 参戦が決まった。

**解答 20** ① 国士舘大学

当時の国士舘大学には鎬木豪（元 FC 東京）、熱田真（元京都）、金沢浄（元磐田）、佐伯直哉（元神戸）ら、後に J リーグでも活躍する選手達が多数在籍していた。

**解答 21** ③ 鬼木達

当時の会報誌によれば「確かに、僕が一番遅いですねえ。でも（と、語気を強めて）、僕が遅いんじゃない、みんなが早すぎるんです」とのこと。

**問 22** 1999 年のホームゲーム。小中学生が 100 円で当日券を購入するための条件を、次の①～④から一つ選べ。

①水色の T シャツ着用 ②応援歌を歌う ③応援フラッグ持参 ④ユニフォーム着用

**問 23** 最終的に J2 優勝を果たした 1999 年。開幕 3 試合で獲得した勝点を、次の①～④から一つ選べ。

①0 点 ②4 点 ③7 点 ④9 点

**問 24** 1999 年に在籍したティンガが披露したことがあるゴールパフォーマンスを、次の①～④から一つ選べ。

①ゲッツ ②カトちゃんペ ③コマネチ ④アイーン

**問 25** 1999 年の第 32 節 FC 東京戦で実施された「10,000 人大作戦」。チラシを持ってきた人にプレゼントされたものを、次の①～④から一つ選べ。

①みんなで J1 はちまき ②みんなで J1 ビブス ③みんなで J1 うちわ ④みんなで J1 フラッグ

**問 26** 1999 年の第 25 節札幌戦、第 32 節 FC 東京戦を 2 試合ともに観戦した人に、「J1 に昇格した場合のみ」として進呈されたスペシャルプレゼントを、次の①～④から一つ選べ。

①オリジナルポストカード ②ZIPPO ライター ③記念切手 ④サイン色紙

**問 27** 1999 年、J1 昇格を決めた試合の対戦相手を、次の①～④から一つ選べ。

①水戸 ②大宮 ③横浜 FC ④鳥栖

**問 28** 1999 年の J2 優勝が決まったのは何曜日か。次の①～④から一つ選べ。

①金曜日 ②土曜日 ③日曜日 ④月曜日

**解答 22** ③ 応援フラッグ持参

既製品か自作かを問わず、応援フラッグを持参すれば 100 円で入場できた。当時は当日券売場の前で即席のフラッグを作っていた子どもたちもいたらしい。

**解答 23** ① 0 点

開幕から新潟、大分、山形に 3 連敗を喫すると、第 5 節終了後には監督がベツトから松本育夫に交代。その後は 12 試合負けなしなどもあり、最終的には 1 位で J1 昇格を果たした。

**解答 24** ④ アイーン

業務提携していたグレミオから期限付き移籍で加入したティンガは、FW として 1999 年の J1 昇格に貢献。後にボルシア・ドルトムント(ドイツ)でもプレーした。ちなみに、ティンガに「アイーン」を仕込んだのはサポーターらしい。

**解答 25** ② みんなで J1 ビブス

第 32 節東京戦の「10,000 人大作戦」では、先着 5,000 名にビブスがプレゼントされ、目標を上回る 13,812 人が集まった。試合も 3-2 で勝利し、J1 昇格に大きく近づいた。なお、この企画は、第 25 節札幌戦でも実施された。

**解答 26** ① オリジナルポストカード

J1 昇格決定後に、2 試合のチケットの半券をクラブ宛てに郵送すると、J1 昇格記念ポストカードがプレゼントされた。

**解答 27** ④ 鳥栖

金曜ナイターで開催された鳥栖戦は、90 分で勝利すれば 2 位 FC 東京の結果にかかわらず J2 優勝が決まる一戦だったが、延長 V ゴールでの勝利で勝点 2 にとどまり、J1 昇格条件の 2 位は確定したものの、優勝は FC 東京の結果待ちとなった。

**解答 28** ④ 月曜日

2 位 FC 東京は、川崎-鳥栖戦から 3 日後の月曜ナイターで大宮と対戦。FC 東京が望みをつなぐためには勝点 3 (90 分での勝利) が必要だったが、0-0 で延長に突入した時点でフロンターレの J2 優勝が決定した。(試合は 1-0 で大宮の勝利)

**問 29** 2000 年に発足した川崎フロンターレ市民後援会の初代会長を、次の①～④から一つ選べ。

① 伊藤三郎 ② 高橋清 ③ 阿部孝夫 ④ 福田紀彦

**問 30** 2000 年にクラブにとって J1 初得点となるゴールを決めた選手を、次の①～④から一つ選べ。

① 鬼木達 ② 今野章 ③ 久野智昭 ④ 長橋康弘

**問 31** フロンターレの記念すべき J1 初勝利の相手を、次の①～④から一つ選べ。

① 鹿島 ② 神戸 ③ 広島 ④ 福岡

**問 32** 2000 年 1st ステージ最終節。C 大阪の優勝を阻む V ゴールを決めた選手を、次の①～④から一つ選べ。

① 浦田尚希 ② 我那覇和樹 ③ 森山泰行 ④ 鈴木隆行

**問 33** 2000 年 7 月 26 日、「最後の川崎ダービー」と銘打たれた V 川崎戦で、試合前に開催されたイベントを、次の①～④から一つ選べ。

① サポーター綱引き対決 ② マスコット PK 対決 ③ 社長リフティング対決 ④ OB 前座試合

**問 34** 2000 年の J リーグたらみオールスターサッカーに、フロンターレから選出され、先制点を決めた選手を、次の①～④から一つ選べ。

① 菊池新吉 ② 西澤淳二 ③ 中西哲生 ④ 向島建

**問 35** フロンターレ史上一番大きい背番号を付けた選手は 2000 年に在籍したルイス。その背番号として正しいものを、次の①～④から一つ選べ。

① 37 番 ② 38 番 ③ 39 番 ④ 40 番

**解答 29** ② 高橋清

川崎フロンターレ後援会（2003 年 2 月までは川崎フロンターレ市民後援会）の会長は川崎市長が務めている。なお、川崎市長としての在任期間は次の通り。

伊藤三郎：1971-1989、高橋清：1989-2001、阿部孝夫：2001-2013、福田紀彦：2013-現在

**解答 30** ① 鬼木達

第 1 節福岡戦、0-2 で迎えた試合終了間際に混戦からのこぼれ球を鬼木が頭で押し込んで記録。このゴールがフロンターレにとって記念すべき J1 初得点。（試合は 1-2 で敗戦）

**解答 31** ② 神戸

開幕 3 連敗で迎えたアウェイでの 2000 年 J1 リーグ 1st ステージ第 4 節神戸戦。虎の子の 1 点を守りきり、J1 初勝利を挙げた。決勝点を挙げたのは現在 U-18 監督を務める今野章。

**解答 32** ① 浦田尚希

2 位横浜 FM に勝点差 2 で首位の C 大阪と、16 チーム中 15 位のフロンターレの試合は延長戦に突入。横浜 FM が 90 分で勝利したため、C 大阪が優勝するには V ゴールでの勝利が必要だったが、延長後半開始直後、途中出場の浦田尚希が我那覇和樹のクロスをスライディングボレーでゴール。この結果、横浜 FM が逆転で優勝。

**解答 33** ③ 社長リフティング対決

翌 2001 年から、ホームタウン移転が決定していた V 川崎。フロンターレからは松本育夫社長、ヴェルディからは坂田信久社長（いずれも当時）が出場した。

**解答 34** ② 西澤淳二

2000 年のオールスターサッカーにフロンターレから唯一選出されたのは、DF の西澤淳二。当時はフロンターレからファン投票で選ばれる選手がおらず、J リーグ推薦での出場だった。前半 5 分に CK のこぼれ球に詰めて、先制ゴールを挙げた。

**解答 35** ② 38 番

2000 年シーズン途中に加入したルイス。エメルソンの異母弟ということで期待を持って迎えられたが、目立った活躍は 2000 年ナビスコカップ準決勝第 1 戦での先制ゴールくらいだった。

**問 36** 2000 年のヤマザキナビスコカップ決勝を戦った時の監督を、次の①～④から一つ選べ。

①ゼッカ ②今井敏明 ③小林寛 ④堀井美晴

**問 37** J2 からの再出発となった 2001 年。この年のリーグ戦のホームゲーム平均入場者数を、次の①～④から一つ選べ。

①3,784 人 ②5,396 人 ③7,258 人 ④9,148 人

**問 38** 札幌から 2001 年に移籍加入するも、7 月末には浦和へと電撃移籍したエメルソン。リーグ戦出場 18 試合で決めた得点数を、次の①～④から一つ選べ。

①9 点 ②11 点 ③13 点 ④19 点

**問 39** 2001 年途中に就任した石崎信弘監督が初めて指揮を執った試合の対戦相手を、次の①～④から一つ選べ。

①山形 ②仙台 ③湘南 ④新潟

**問 40** 2001 年 J2 最終節の山形戦を累積警告のために出場停止となり、リーグ戦フルタイム出場が途切れてしまった選手を、次の①～④から一つ選べ。

①鬼木達 ②久野智昭 ③伊藤宏樹 ④飯島寿久

**問 41** 2001 年 J2 最終節で山形の昇格を阻止する V ゴールを決めた選手を、次の①～④から一つ選べ。

①阿部良則 ②盛田剛平 ③伊藤彰 ④我那覇和樹

**問 42** 2001 年の第 81 回天皇杯では J2 クラブ初となるベスト 4 に進出。準々決勝・準決勝で計 3 得点を挙げた選手を、次の①～④から一つ選べ。

①阿部良則 ②盛田剛平 ③伊藤彰 ④我那覇和樹

**解答 36** ③小林寛

2000 年は 2 度の監督交代があったフロンターレ。5 月にゼッカが、9 月には今井敏明が相次いで退任し、10 月以降は育成部にいた小林寛が監督に就任した。監督の在任期間は次の通り。

ゼッカ (2000-2000.5) →今井敏明 (2000.5-2000.9) →小林寛 (2000.10-2000) →堀井美晴 (2001-2001.7)

**解答 37** ①3,784 人

この年の平均入場者数は、1999 年の J リーグ参入後ではクラブ最少。まさにゼロからの再出発となった。伊藤宏樹 (現フロンターレ強化部スカウト) はこの時代を振り返って、「お客さんが 3,000 人くらいだった頃…」というフレーズをよく使う。

**解答 38** ④19 点

2004 年には浦和で J1 得点王に輝いたエメルソン。フロンターレでも出場試合数を上回る驚異的なペースでゴールを決めていた。なお、在籍時は「1981 年 9 月 6 日生まれ」と登録されていたが、浦和退団後に「1978 年 12 月 6 日生まれ」で、名前もエメルソンではなかったことが判明した。

**解答 39** ④新潟

「ノブリン」の愛称で親しまれた石崎監督は、2001 年 J2 第 21 節の新潟戦から就任。なお、この試合は延長戦の末 2-3 で V ゴール負け。初勝利は監督就任 3 試合目 (第 23 節)の横浜 FC 戦だった。

**解答 40** ③伊藤宏樹

伊藤宏樹は、大卒ルーキーながら開幕戦からフル出場を続けていたが、第 43 節の新潟戦で累積 4 枚目の警告を受け、最終節は出場停止となってしまった。ちなみに、翌年の 2002 年にはリーグ戦フルタイム出場を達成している。

**解答 41** ④我那覇和樹

2001 年 J2 最終節の山形戦は 90 分で決着がつかず、この時点で山形の昇格の可能性が消滅 (90 分で勝利した仙台が逆転で 2 位に)。気落ちした山形を相手に、途中出場の我那覇和樹が延長戦開始直後に V ゴールを奪って勝利した。

**解答 42** ③伊藤彰

第 81 回天皇杯準々決勝の東京 V 戦で 2 ゴールを挙げ、準決勝進出の立役者となった伊藤彰は、続く準決勝の清水戦でも一時同点となるゴールを決めた。ちなみに、今シーズンから伊藤彰は大宮のトップチームのコーチに就任している。

**問 43** 2001 年の契約満了選手の中で、サポーターが再契約を要望する署名活動を実施した選手を、次の①～④から一つ選べ。

① 阿部良則 ② 盛田剛平 ③ 伊藤彰 ④ 向島建

**問 44** 2001 年だけで J2 リーグ、ナビスコカップ、天皇杯を合わせて 7 試合対戦したクラブを、次の①～④から一つ選べ。

① 大宮 ② 横浜 FC ③ 湘南 ④ 甲府

**問 45** 2002 年に GK 鈴木洋平と共に川崎フロンターレ U-18 からトップチームに初めて昇格を果たした選手を、次の①～④から一つ選べ。

① 藤木亮以 ② 木村光佑 ③ 岩館侑哉 ④ 都倉賢

**問 46** 2002 年のファン感謝デーはホームゲーム終了後に開催されたが、その時の対戦相手を、次の①～④から一つ選べ。

① 山形 ② 水戸 ③ 大宮 ④ 横浜 FC

**問 47** 2002 年、プロデビュー戦で交代出場から 1 分後に決勝ゴールを決めた黒津勝。その試合の対戦相手を、次の①～④から一つ選べ。

① 大宮 ② 湘南 ③ 新潟 ④ 鳥栖

**問 48** 2002 年、等々力満員大作戦のプロモーションを実施した第 37 節 C 大阪戦。勝利に導く決勝ゴールを挙げた選手を、次の①～④から一つ選べ。

① マーロン ② ベンチーニョ ③ 黄川田賢司 ④ 我那覇和樹

**問 49** 2002 年、契約満了が発表されたものの、その後の天皇杯での活躍が認められ、再契約を掴みとった選手を、次の①～④から一つ選べ。

① 黄川田賢司 ② 加賀美健介 ③ 林晃平 ④ 小林康剛

**解答 43** ① 阿部良則

2001 年、エメルソン退団後にエースとしてチームを牽引し、天皇杯でも目覚ましい活躍を見せた阿部良則に対し、サポーターからは再契約を嘆願する活動が行われ、2000 筆近い署名が集まった。

**解答 44** ② 横浜 FC

2001 年は J2 リーグが 12 チームによる 4 回戦制。ナビスコカップが、J1・J2 全 28 チームによるホーム&アウェイのトーナメント方式（決勝のみ 1 試合制）。加えて、天皇杯でも対戦したため、横浜 FC と 4+2+1=7 試合顔を合わせた。ちなみに戦績はフロンターレの 7 戦全勝。

**解答 45** ① 藤木亮以

1999 年の川崎フロンターレ U-18 立ち上げ時に、高校 1 年生だった藤木亮以は 2002 年にトップチームに昇格し、2 年間所属した。2004 年には JFL の YKK AP に移籍、2007 年シーズンをもって現役を引退。現在は官前区内の整骨院で院長を務める。同時に昇格した鈴木洋平は、現在 U-15GK コーチを務めている。

**解答 46** ④ 横浜 FC

2002 年のファン感謝デーは J2 第 15 節横浜 FC 戦の後に開催。しかし、肝心の試合が逆転負けに終わったため、何とも微妙な空気の中で行われた。なお、フロンターレが公式戦で横浜 FC に敗れたのは、現時点でこの 1 試合のみである。

**解答 47** ① 大宮

2002 年 J2 第 27 節の大宮戦、76 分に交代で出場した黒津は、その 1 分後ファーストタッチでゴールを奪い、結局これが決勝点になった。なお、この時に即興で作られた応援歌はおなじみの曲ではなく、「暴れん坊将軍」のテーマだった。

**解答 48** ① マーロン

2002 年 J2 第 37 節の C 大阪戦、1-1 で迎えた試合終了間際にマーロンがダイビングヘッドで決勝点を決め、等々力は大いに盛り上がった。この年、シーズン途中で加入したマーロンは 23 試合で 12 得点の活躍。

**解答 49** ④ 小林康剛

第 82 回天皇杯、既に攻撃の核を担っていたブラジル人選手が帰国してしまった中で奮闘したのが、既に契約満了が発表されていた小林康剛。4 回戦の G 大阪戦では決勝点を挙げ、ベスト 8 進出に大いに貢献。その後、再契約を勝ち取った。



**問 50** 2002 年に加入したアレックス。退団後に在籍したチームとして、正しくないものを次の①～④から一つ選べ。

- ①鹿島 ②柏 ③横浜 FM ④徳島

**問 51** 2002 年に加入した岡山一成。ホームゲーム終了後に G ゾーン前のあいさつで小麦粉をまき散らしてしまった試合を、次の①～④から一つ選べ。

- ①2002 年 10 月 13 日 C 大阪戦  
②2003 年 10 月 4 日新潟戦  
③2004 年 10 月 2 日横浜 FC 戦  
④2004 年 11 月 23 日甲府戦

**問 52** 2003 年に川崎フロンターレ・横浜 FC・湘南ベルマーレの 3 クラブ合同で行われた神奈川ダービー「THE SKY DREAM GAME」。一般公募したキャッチコピーで、グランプリに選ばれたものを、次の①～④から一つ選べ。

- ①「神奈川決戦、待ったなし!!」  
②「神奈川ダービー見ずに、J2 を語るな」  
③「安い、近い、熱い!神奈川ダービー開催中!」  
④「ファンタジスタな 12 幕!神奈川トライアングルダービー」

**問 53** 2003 年に登場したフロンターレカラーにラッピングされた宣伝カー。その軽ワゴン車の愛称を、次の①～④から一つ選べ。

- ①フロカー ②フロキャラバン ③フロバス ④フロ Q

**問 54** 2003 年に加入したジュニーニョ。リーグ戦初ゴールを決めた試合を、次の①～④から一つ選べ。

- ①第 1 節広島戦 ②第 2 節湘南戦 ③第 3 節福岡戦 ④第 4 節甲府戦

**問 55** 2003 年に加入したアウグスト。この年のリーグ戦でのゴール数を、次の①～④から一つ選べ。

- ① 3 点 ②9 点 ③11 点 ④17 点

**解答 50** ③横浜 FM

アレックスは 2002 年、マーロンと共に途中加入。その後は福岡、柏、千葉、鹿島、徳島と渡り歩き、今年で来日 15 年目を迎える。来日当時 18 歳だったアレックスも既に 32 歳、ベテランの域に差し掛かっている。

**解答 51** ②2003 年 10 月 4 日新潟戦

2003 年 J2 第 37 節、J1 昇格争いの大一番となった新潟戦で 3-0 と快勝したフロンターレ。試合後、テンションが最高潮に達していた岡山一成は、G ゾーン前に置かれていた小麦粉に目ざとく反応、喜びのあまり観客席に向けて散布してしまった。なお、この一連の様子は、今なお某動画共有サイトに保存されている。

**解答 52** ①「神奈川決戦、待ったなし!!」

②、③、④はそれぞれ川崎フロンターレ賞、横浜 FC 賞、湘南ベルマーレ賞の作品。チャンピオンチーム、MVP などを決定する「神奈川ダービーアワード」、対象試合ならどの試合でも観戦できる「神奈川ダービー共通チケット」などの企画が実施された。

**解答 53** ④フロ Q

当時のスポンサーから車両提供された宣伝カーの愛称は一般公募。応募総数 536 通の中からクラブスタッフの厳選なる審査の上、「フロ Q」に決定した。2004 年末には J1 昇格、J2 優勝を祝して「フロ Q2 号」の提供を受けた。

**解答 54** ②第 2 節湘南戦

開幕戦の広島戦、圧倒的なスピードで他チームを震撼させたジュニーニョは、次節の湘南戦で来日初ゴールを記録。その後 9 シーズンで通算 214 ものゴールを、フロンターレにもたらした。(J1 : 110 得点, J2 : 65 得点, ナビスコカップ : 23 得点, 天皇杯 : 10 得点, ACL : 6 得点)

**解答 55** ④17 点

アウグストは、2003 年のリーグ戦で 41 試合に出場し、左ウイングバックのポジションにもかかわらず 17 得点という驚異的な記録を残した。なお、この 17 得点はこの年の J2 得点ランク第 5 位。

<p><b>問 56</b> 2003 年, 当時新人だった中村憲剛が 1 年間だけ付けていた背番号を, 次の①～④から一つ選べ。</p> <p>① 23 番 ② 24 番 ③ 25 番 ④ 26 番</p> <p><b>問 57</b> 2003 年 6 月 28 日の鳥栖戦でスーパーボレーシュートを決めた中村憲剛。ゴール後に披露したパフォーマンスを, 次の①～④から一つ選べ。</p> <p>① ゲッツ ② カトちゃんぺ ③ コマネチ ④ アイーン</p> <p><b>問 58</b> 2003 年 8 月 30 日の山形戦で, J2 リーグ通算 3,000 ゴール目となる記念ゴールを決めた選手を, 次の①～④から一つ選べ。</p> <p>① アウグスト ② ジュニーニョ ③ 我那覇和樹 ④ 中村憲剛</p> <p><b>問 59</b> 2003 年, 等々力超満員大作戦と銘打たれた第 37 節新潟戦のキャッチコピーを, 次の①～④から一つ選べ。</p> <p>① Challenge 100 ② 青心統一 ③ Mind-1 ④ ONE STEP</p> <p><b>問 60</b> 問 59 の新潟戦の試合告知ポスターに起用されたふろん太とアルビくん。二人のポーズとして正しいものを, 次の①～④から一つ選べ。</p> <p>① ファイティングポーズ ② PK 対決 ③ 腕相撲 ④ 稲刈り</p> <p><b>問 61</b> 惜しくも勝点 1 差で J1 昇格を逃した 2003 年。最終節の対戦相手を, 次の①～④から一つ選べ。</p> <p>① 山形 ② 湘南 ③ 広島 ④ 鳥栖</p> <p><b>問 62</b> 新体制発表会見が初めて公開で実施された 2004 年。その会場を, 次の①～④から一つ選べ。</p> <p>① 洗足学園音楽大学 ② 昭和音楽大学 ③ 市民ミュージアム ④ ミューザ川崎</p>		<p><b>解答 56</b> ④ 26 番 加入 1 年目に中村憲剛が付けた背番号は 26 番。翌 2004 年シーズンから背番号を 14 に変更し, 現在に至るまで 14 番を背負い続けている。</p> <p><b>解答 57</b> ① ゲッツ 鳥栖戦のスーパーゴールの後で中村憲剛が見せたゴールパフォーマンスは, 当時流行していたダンディ坂野の「ゲッツ」。ゴールシーンとその後のパフォーマンスも某動画共有サイトに残されている。</p> <p><b>解答 58</b> ① アウグスト 2003 年 J2 第 30 節の山形戦, 84 分のアウグストのゴールが J2 リーグ通算 3,000 ゴール目。ちなみに, この試合でアウグストはもう 1 ゴールを挙げている。</p> <p><b>解答 59</b> ② 青心統一 <b>解答 60</b> ③ 腕相撲 J1 昇格のライバルとなる新潟に 3 戦 3 敗で迎えた, シーズン 4 回目の顔合わせ。試合 1 週間前には, 当時の阿部市長, 武田社長, 石崎監督, 鬼木キャプテン出席のもと, 川崎市役所で記者会見を実施して, サポーターへ応援を呼びかけた。背中に「青心統一」の文字と, 堀内夏子先生によるマスコット同士の腕相撲のイラストが入った T シャツは, 入場時に選手たちも着用。試合には見事 3-0 で勝利した。問 51 の「小麦粉事件」は, この試合での出来事。</p> <p><b>解答 61</b> ③ 広島 第 43 節を終えて (残り 1 試合), 勝点は首位広島 86, 2 位新潟 85, 3 位川崎 82。最終節でフロンターレは広島に勝利したものの, 新潟が勝利したため, 最終順位は優勝新潟 (勝点 88), 2 位広島 (勝点 86), 3 位川崎 (勝点 85)。勝点 1 差で昇格を逃した経験が, 翌 2004 年の「Mind-1」, そして J2 優勝につながった。</p> <p><b>解答 62</b> ③ 市民ミュージアム 現在は年末のフロンターレ展の会場としておなじみの市民ミュージアム。逍遙展示空間に特設ステージを用意し, クラブ初となる公開型の新体制発表会見が行われた。</p>
---	--	---

**問 63** 2004年にフロンターレに加入したマルクス。前年(2003年)に所属していたクラブを、次の①～④から一つ選べ。

① 東京V ② 横浜FM ③ 新潟 ④ 本田技研

**問 64** 2004年、J1昇格を決めた試合の対戦相手を、次の①～④から一つ選べ。

① 水戸 ② 大宮 ③ 横浜FC ④ 鳥栖

**問 65** 問64の試合に出場していた選手として、正しくないものを次の①～④から一つ選べ。

① 伊藤宏樹 ② アウグスト ③ 箕輪義信 ④ マルクス

**問 66** 2004年、J2優勝を決めた試合の対戦相手を、次の①～④から一つ選べ。

① 水戸 ② 大宮 ③ 横浜FC ④ 鳥栖

**問 67** 2004年の年間勝点と総得点の組み合わせを、次の①～④から一つ選べ。

① 勝点88/80得点 ② 勝点97/89得点 ③ 勝点101/86得点 ④ 勝点105/104得点

**問 68** 2005年に来日し、のちにブラジル代表として活躍するフッキ。フロンターレではリーグ戦1ゴールのみだったが、その試合の対戦相手を、次の①～④から一つ選べ。

① 清水 ② 磐田 ③ 名古屋 ④ 京都

**問 69** 2005年3月6日、J1復帰初戦となった柏レイソル戦で先発したGKを、次の①～④から一つ選べ。

① 浦上壮史 ② 吉原慎也 ③ 下川誠吾 ④ 相澤貴志

**問 70** 2005年のヤマザキナビスコカップ予選リーグ第1節。前半を4-0で折り返しながら後半に4失点し、追いつかれてしまった相手を、次の①～④から一つ選べ。

① 柏 ② 浦和 ③ 東京V ④ G大阪

**解答 63** ③ 新潟

フロンターレでは中盤のイメージが強いが、アルビレックス新潟で2002年・2003年と2年連続でJ2得点王に輝く。フロンターレ加入の際には、「個人的にはジュニーニョと競い3年連続得点王を目指す」とコメントしていた。なお、1997-1999年は本田技研、2006年は東京V、2007年は横浜FMでプレー。

**解答 64** ① 水戸

2004年9月26日、笠松運動公園陸上競技場で行われた水戸ホーリーホックとのアウェイゲーム。71分、ジュニーニョの突破に対するファウルで得たFKをマルクスが直接ゴール。これが決勝点となり、2-1のスコアで悲願のJ1昇格を決めた。

**解答 65** ② アウグスト

アウグストは前節の山形戦で全治2か月半のケガを負ったため、優勝決定後、シーズン終了を待たずにブラジルに帰国した。箕輪義信は試合後に「川崎市民で良かったよ!」と叫び、サポーターを喜ばせた。

**解答 66** ③ 横浜FC

この日は優勝が決定した場合に限り、運営管理規定第5条(禁止行為)の「紙吹雪、紙テープの使用」が臨時解除となることがクラブから事前に広報があり、実際に試合終了の瞬間には、等々力競技場バックスタンドに大量の紙吹雪が舞った。

**解答 67** ④ 勝点105/104得点

2004年のフロンターレは、昇格・優勝決定後も「Challenge 100」の合言葉のもと、勝点100、得点100を記録した。

**解答 68** ② 磐田

この試合、途中出場したフッキは85分、またぎフェイントで相手DFをかわずと、折り返すと見せかけてニアサイドに直接シュート。これがGK川口能活の逆を突き、勝利を決定付けるゴールとなった。ちなみにこのときフッキは18歳11ヶ月7日。

**解答 69** ③ 下川誠吾

2004年に加入した下川誠吾は、2004年終盤にレギュラーの座を確保。2005年、J1復帰初戦となった柏戦でもゴールマウスを守った。しかし、リードを守れない試合や逆転負けが相次ぐ悪い流れの中、ポジションを吉原慎也に明け渡す格好になってしまった。

**解答 70** ③ 東京V

開幕からリーグ戦で2試合連続引き分け中のフロンターレは、続くナビスコカップ東京V戦で4-0とリードを奪ったが、後半だけで森本貴幸の2ゴールを含む4失点でまたも引き分け。直後のリーグ戦第3節も含め、4試合連続で引き分けた。

**問 71** 2005年9月に実施した「K点越え」プロモーション。この試合の対戦相手を、次の①～④から一つ選べ。

- ① 柏 ② 鹿島 ③ 神戸 ④ 京都

**問 72** 2005年の天皇杯で横浜F・マリノスとの神奈川ダービーが行なわれた試合会場を、次の①～④から一つ選べ。

- ① 長居スタジアム  
② 香川県立丸亀競技場  
③ 長崎県立総合運動公園陸上競技場  
④ 鹿児島県立鴨池陸上競技場

**問 73** NHK教育テレビ「ピタゴラスイッチ」の「アルゴリズムこうしん」に出演しなかった選手を、次の①～④から一つ選べ。

- ① 我那覇和樹 ② 今野章 ③ 寺田周平 ④ 中村憲剛

**問 74** テレビ東京系列で放送された「かじのや納豆」のCMに出演しなかった選手を、次の①～④から一つ選べ。

- ① 我那覇和樹 ② 谷口博之 ③ 寺田周平 ④ 中村憲剛

**問 75** 2006年に発足した川崎フロンターレU-12。アカデミー（下部組織）出身選手の中で、発足初年度のU-12（U-11、U-10を含む）に所属していた選手を、次の①～④から一つ選べ。

- ① 安藤駿介 ② 可児壮隆 ③ 板倉滉 ④ 三好康児

**問 76** 2006年11月に催行された、「打倒!オレンジ DAYS」と銘打ったアウェイツアーの対戦相手を、次の①～④から一つ選べ。

- ① 大宮 ② 新潟 ③ 清水 ④ 愛媛

**解答 71** ② 鹿島

2000年1stステージ、2ndステージ、ナビスコカップ決勝、2002年天皇杯、2004年天皇杯、2005年1stステージと6戦6敗で迎えた2ndステージ鹿島戦。当時、すでに国内9冠を誇った鹿島にどうしても勝利したいと企画されたプロモーションが「K点越え」。見事2-1で勝利を収めた。

**解答 72** ③ 長崎県立総合運動公園陸上競技場

天皇杯5回戦、互いの本拠地から遥か遠くで開催されることになった神奈川ダービー。リーグ戦ではジュニーニョの控えに甘んじていたフッキがこの日は2得点の大活躍。岡田武史監督率いる横浜F・マリノスから見事勝利を収めた。

**解答 73** ④ 中村憲剛

「ピタゴラスイッチ」の「アルゴリズムこうしん」には、子ども番組ということもあり、当時既に「パパ」でもあった我那覇和樹、鬼木達、寺田周平、今野章、アウグストの各選手に加え、ふろん太くんが出演した。

**解答 74** ① 我那覇和樹

「かじのや納豆」のCMに起用されたのは寺田周平、谷口博之、中村憲剛の3選手。憲剛の放ったシュートが、CG加工で有り得ない方向へ曲がっていくのが印象的なCMだった。

**解答 75** ③ 板倉滉

小学4年時に川崎フロンターレU-12に加入した板倉滉は、2008年のダノンネーションズカップ世界大会初出場時のメンバー。もともとフロンターレサポーターで、2005年J1ホーム開幕戦で入場待ち列に並んでいた時のインタビューがシーズンチケット購入特典「プレミアムDVD」に収録されている。なお、三好は2007年（小学5年時）からの加入、安藤と可児はU-15（中学生年代）からの加入。

**解答 76** ③ 清水

「打倒!オレンジ DAYS」を皮切りに、「きまくれ!オレンジロード」(2008年)、『何もしない』プロモーション(2009年)でも勝てなかったアウェイ清水戦。初勝利を挙げたのは、本当に何もなかった平日開催の2011年だった。

**問 77** 2006年7月に展開された「修羅場3」プロモーション。対戦相手に含まれないクラブを、次の①～④から一つ選べ。

- ①鹿島 ②浦和 ③横浜FM ④G大阪

**問 78** 2006年、クラブ創立10周年を記念して開催されたOBドリームマッチに出場しなかった選手を、次の①～④から一つ選べ。

- ①相馬直樹 ②岩本輝雄 ③中西哲生 ④向島建

**問 79** 2006年の市制記念試合で開催されたホームゲームイベントを、次の①～④から一つ選べ。

- ①川崎フェスタ ②福島フェスタ ③宮崎フェスタ ④沖縄フェスタ

**問 80** 2006年にフロンターレ初のベストイレブンに選出された選手の組み合わせとして正しいものを、次の①～④から一つ選べ。

- ①中村憲剛／谷口博之  
②中村憲剛／ジュニーニョ  
③我那覇和樹／ジュニーニョ  
④中村憲剛／我那覇和樹

**問 81** 背番号10を付けたことがない選手を、次の①～④から一つ選べ。

- ①マジニョ ②アルバレンガ ③ティンガ ④リカルジーニョ

**問 82** 背番号25を付けたことがない選手を、次の①～④から一つ選べ。

- ①鬼木達 ②伊藤宏樹 ③我那覇和樹 ④森勇介

**問 83** フロンターレ在籍中に日本代表に選出された初めての選手を、次の①～④から一つ選べ。

- ①向島建 ②箕輪義信 ③寺田周平 ④中村憲剛

**解答 77** ③横浜FM

2006年のワールドカップ中絶明けに鹿島、浦和、G大阪という強豪3連戦を迎えるにあたって企画された「修羅場3」。ロゴは書家の伊藤碧山氏によるものだった。

**解答 78** ②岩本輝雄

前夜祭には参加していたものの、翌日のOBドリームマッチにはなぜか現れず…

**解答 79** ④沖縄フェスタ

川崎－我那覇友好自治体10周年を記念して、沖縄飲食コーナーや琉球舞踊などが楽しめる「沖縄フェスタ」が開催された。我那覇和樹の中学の後輩にあたるシンガーソングライター・安次嶺奈菜子さんが、雨の降る中、琉球音楽を中心に素晴らしい歌声を披露してくれた。

**解答 80** ①中村憲剛／谷口博之

2人揃って2桁得点を記録した（中村憲剛10得点、谷口博之13得点）、ある意味フロンターレらしいダブルボランチがベストイレブンを受賞。一方、20得点のジュニーニョは、ともに26得点のワシントン、マグノ アウベスの得点王コンビに阻まれ、ベストイレブン受賞はならなかった（翌2007年は得点王とベストイレブンをダブル受賞）

**解答 81** ②アルバレンガ

2000年に在籍した当時パラグアイ代表のアルバレンガ。彼が付けていた背番号は18番。ちなみにそのシーズンの10番はマジニョ。

**解答 82** ③我那覇和樹

我那覇和樹のフロンターレでの背番号の変遷は「27番→17番→27番→9番」で、25番は付けていない。

**解答 83** ②箕輪義信

2005年10月、ジーコ監督時代の日本代表東欧遠征のメンバーとして選出。ウクライナ戦に途中出場し、初キャップを飾る。29歳での代表初招集は、フィールドプレーヤーとしてはJリーグ創設後の最年長記録（当時）だった。なお、2008年には寺田周平が32歳で初招集された。

**問 84** プロ契約ではない社員選手としてプレーしたことがない選手を、次の①～④から一つ選べ。

- ① 土居義典 ② 伊藤彰 ③ 小松崎保 ④ 久野智昭

**問 85** 伊藤宏樹と同期入団の選手を、次の①～④から一つ選べ。

- ① 黒津勝 ② 中村憲剛 ③ 寺田周平 ④ 我那覇和樹

**問 86** tvk「ファイト!川崎フロンターレ」の歴代 MC を出演順に並べたものとして正しいものを、次の①～④から一つ選べ。

- ① 安中都 → 小池奈留美 → 廣瀬なおみ → 木口美和子 → 沖樹莉亜 → 木村朱美  
② 小池奈留美 → 安中都 → 木口美和子 → 廣瀬なおみ → 沖樹莉亜 → 木村朱美  
③ 小池奈留美 → 安中都 → 廣瀬なおみ → 木口美和子 → 沖樹莉亜 → 木村朱美  
④ 安中都 → 小池奈留美 → 木口美和子 → 廣瀬なおみ → 沖樹莉亜 → 木村朱美

**問 87** 川崎山脈と相手チームに恐れられた 4 選手を加入順に並べたものとして正しいものを、次の①～④から一つ選べ。

- ① 佐原秀樹 → 箕輪義信 → 寺田周平 → 伊藤宏樹  
② 佐原秀樹 → 寺田周平 → 伊藤宏樹 → 箕輪義信  
③ 佐原秀樹 → 寺田周平 → 箕輪義信 → 伊藤宏樹  
④ 佐原秀樹 → 箕輪義信 → 伊藤宏樹 → 寺田周平

**問 88** ホーム開幕戦の始球式を行った有名人を登場順に並べたものとして正しいものを、次の①～④から一つ選べ。

- ① 伊藤浩司 → パンチ佐藤 → スチャダラパー → 山本美憂  
② 伊藤浩司 → スチャダラパー → 山本美憂 → パンチ佐藤  
③ スチャダラパー → 山本美憂 → 伊藤浩司 → パンチ佐藤  
④ スチャダラパー → 伊藤浩司 → パンチ佐藤 → 山本美憂

**問 89** アカデミー（下部組織）出身選手の中で、2015 シーズン終了時に「川崎フロンターレでの J1 リーグ出場試合数」が最も多い選手を、次の①～④から一つ選べ。

- ① 都倉賢 ② 木村祐志 ③ 安藤駿介 ④ 三好康児

**解答 84** ① 土居義典

社員選手としてプレーした経験があるのは久野智昭、伊藤彰、小松崎保、高田栄二、川元正英、境秋範の 6 選手。土居義典は 1997 年に大塚製菓(現徳島ヴォルティス)からプロ契約で移籍加入。

**解答 85** ① 黒津勝

伊藤宏樹は 2001 年に加入。同期入団には黒津勝(現鳥取)と玉置晴一(現フロンターレ U-12 コーチ)がいる。

**解答 86** ③ 小池奈留美 → 安中都 → 廣瀬なおみ → 木口美和子 → 沖樹莉亜 → 木村朱美

小池奈留美 (2000)  
安中都 (2003-2005)  
廣瀬なおみ (2006-2007)  
木口美和子 (2008-2010)  
沖樹莉亜 (2011-2012)  
木村朱美 (2013-)

**解答 87** ③ 佐原秀樹 → 寺田周平 → 箕輪義信 → 伊藤宏樹

佐原秀樹 (1997-2007, 2010)  
寺田周平 (1999-2010)  
箕輪義信 (2000-2008)  
伊藤宏樹 (2001-2013)

**解答 88** ① 伊藤浩司 → パンチ佐藤 → スチャダラパー → 山本美憂

伊藤浩司：1999 年, 2001 年 ※富士通陸上部  
パンチ佐藤：2003 年 ※西中原中学校出身  
スチャダラパー：2005 年 ※シンコとアニが川崎市宮前区出身  
山本美憂：2006 年 ※川崎市出身

**解答 89** ② 木村祐志

フロンターレでの J1 リーグ戦出場試合数は、都倉 6, 木村 7, 安藤 5, 三好 3 で僅差ながら木村が最多。安藤, 三好, 板倉には記録を更新できるよう頑張ってもらいたい。

**問 90** 今季の J クラブの監督のうち、川崎フロンターレのアカデミー（下部組織）での監督経験がある人物を、次の①～④から一つ選べ。

① 石崎信弘（山形） ② 関塚隆（千葉） ③ 城福浩（FC 東京） ④ 曹貴裁（湘南）

**問 91～問 100 次の出来事が起こった年を、次の①～⑩から一つずつ選べ。**

① 1997 年 ② 1998 年 ③ 1999 年 ④ 2000 年 ⑤ 2001 年

⑥ 2002 年 ⑦ 2003 年 ⑧ 2004 年 ⑨ 2005 年 ⑩ 2006 年

**問 91** 「Mind-1」がキャッチフレーズとなった年

**問 92** 「FOOTBALL TOGETHER」がキャッチフレーズとなり、ユニフォームにも入るようになった年

**問 93** オフィシャルショップ「アズーロ・ネロ」が（店舗として）オープンした年

**問 94** 西城秀樹さんがハーフタイムに初登場した年

**問 95** フロンターレ神社がお披露目された年

**問 96** 麻生グラウンドが完成した年

**問 97** Paint it Blue キャンペーンがスタートした年

**問 98** フロンターレデザインのオフィシャルチームバス（選手移動用）が登場した年

**問 99** シーズンチケット購入特典の「プレミアム DVD」が登場した年

**問 100** モバイルフロンターレ（有料版）がスタートした年

**解答 90** ④ 曹貴裁（湘南）

フロンターレでは、2000～2001 年にトップチームアシスタントコーチ、2002～2003 年に U-15 監督を務めた。湘南で指導した高山薫、永木亮太（今季から鹿島）は、ともにフロンターレ U-15 時代の教え子。

**解答 91** ⑧ 2004 年

2003 年に勝点 1 差で昇格を逃したフロンターレが、翌年に掲げたキャッチフレーズが「Mind-1」。副題は「勝点 1 への執念—こころ 1 つに J1 へ」。

**解答 92** ⑥ 2002 年

クラブ理念として 2002 年に発表された「FOOTBALL TOGETHER」。ユニフォームにもプリントされているほか、得点後の応援歌『BASKET CASE』の歌詞にもなっている。

**解答 93** ⑨ 2005 年

2003 年、電話による通信販売でスタートした「アズーロ・ネロ」は、WEB での受付開始を経て、2005 年 2 月に現在と同じ場所に店舗を構えた。

**解答 94** ④ 2000 年

問 33 の「最後の川崎ダービー」に登場したのが最初。2004 年からは市制記念試合に出演し続けている。（2007 年のみスケジュールの都合で、西城秀樹の振り真似がきっかけで芸能界デビューした「川崎」麻世さんが出演）

**解答 95** ⑤ 2001 年

当初はバックスタンドに設置されたが、西向きは良くないとのことで、2005 年に現在の位置に移動した。

**解答 96** ③ 1999 年

昨年までの旧クラブハウスは「プレハブ」と呼ばれることもあったが、移転した当初は初めての専用練習場ということで大いに喜ばれた。

**解答 97** ⑥ 2002 年

等々力や川崎の街をフロンターレブルーでいっぱいになりたいという思いから、サポーター有志が 2002 年に呼び掛けたのが最初。クラブも観戦初心者向けのグッズを低価格で商品化することで協力した。その後に定番化したグッズとして「Paint it Blue T シャツ」や「ブンブンタオル」などがある。

**解答 98** ⑨ 2005 年

それまでは選手の移動に一般の観光バスを利用していたが、2005 年 7 月に専用のオフィシャルチームバスが登場。その後、2010 年 12 月、2016 年 1 月に 2 度のデザイン変更をして現在に至る。ナンバーはクラブ創立年を表す「1997」。

**解答 99** ⑧ 2004 年

初の製作となる「プレミアム DVD 2003-2004」の収録時間は 30 分だった。（今年のプレミアム DVD の収録時間は 190 分）

**解答 100** ⑨ 2005 年

2004 年 9 月から試験的に無料版がオープン。2005 年 4 月から正式にスタートした。